



桐

大東文化学園教職員組合連合機関紙
2025年4月23日発行 第1169号



大東文化学園教職員組合連合

〒175-8571 板橋区高島平1-9-1

tel/fax. 03-3935-9505

この号の内容

1. 執行委員長のご挨拶
2. 2025年度連合執行委員のご紹介
3. 2025年度春闘要求書が決定
4. 2025年度春闘アンケートの結果



組合HP
e-mail

<https://daito-un.org>
daito-un@boreas.dti.ne.jp

執行委員長のご挨拶

このたび、大東文化大学教職員組合委員長に信任いただきました経営学部経営学科の^{しゅうとう ただし}首藤 禎史です。小職の研究分野は、マーケティングという領域で、現在本学での担当している科目は、「マーケティング・マネジメント AB」「小売マーケティング AB」「経営学専門演習Ⅰ,Ⅱ」「基礎演習」などの学部科目、および大学院の「マーケティング研究指導」「経営診断講義」他です。

小職が本学に入職したのは1994年のことであつたので、もうすでに30年以上を本学の教員として過ごしてきました。この間、社会経済の変化はもちろん、本学においても激動の30年とも言っているいろいろなことがありました。しかしながら、それらは必ずしも良い方向に変化したとも言えないことも少なくありません（むしろ問題は増大したとも）。

変化して止まない地球・社会環境において私たち人類が立ち向かわなければいけない課題もますます増え続けていますが（その多くは私たち人類自らが創り出したとも）、本学教職員としても立ち向かわなければいけない問題、または事象も山積です。

過去には小職も組合執行委員として数年間、時には「センター試験手当問題」や「教員定年短縮問題」などに関して学園側と協議を重ねた記憶がありますが、どれも学園の教職員のみなさんの満足のいくような結果は得られませんでした（組合の組織メンバー数の減少により、こちらの言い分はほぼ neglect 状態でした）。

組合組織メンバー数が減少する中、未解決の前掲の課題だけでなく、昨今の物価状況などの影響に対応する賃金ベース・アップや職場環境の整備など、解決すべき課題は多く、どこまで対峙・解決できるかはわかりませんが、執行委員の皆さんの無償かつ献身的なご協力と組合員の皆様のご支援の下、できる限りの努力をしていく所存です。

組合員の皆さんも新規メンバーの勧誘や団体交渉への参加・フォローなど本教職員組合を戦える組織に再生すべく、ご協力のほどよろしくお願いします。

大東文化学園教職員組合連合
委員長 首藤 禎史

2025年度連合新執行委員のご紹介

2024年12月16日（月）連合代議員総会が開かれ、2025年度の連合執行委員が選出され、始動しております。ご紹介が遅くなってしまいましたが、大東文化学園が直面する諸問題に関して、積極的に取り組んでいく所存です。これからも皆様のご支援とご協力の程、お願いいたします。

役 職	氏 名	所 属
委員長	首藤 禎史	経営・経営
副委員長	今井 純	一高
書記長	小池 剛史	文・英米文
書記次長	山中 吾郎	文・教育
執行委員	牧山 悟郎	経営学部事務室
執行委員	松田 洋介	文・教育
執行委員	上村 圭介	外・日本語
執行委員	木村 陽子	文・日本文
執行委員	大須賀 渉	一高
執行委員	黒羽 精一	一高



2025年 春闘要求書が決定 !!

2025年4月14日 学園に提出！

今年度春闘に向けて組合は2025年2月17日から3月7日まで、大学、高校それぞれの単組で、教育職員、事務職員を対象としたアンケートを実施致しました。ご協力頂きました皆様に、この場を借りて感謝申し上げます。アンケート結果を組合執行委員内で精査し、それを基に、より働きがいと活力ある職場とするために労働条件改善を目指して春闘要求を取りまとめています。

組合連合は去る4月10日(木)に連合代議員総会を開き、高校、大学それぞれの組合執行委員会で作成した春闘要求原案を審議し、承認されました。本総会では、アンケート結果に反映された教職員の労働環境、生活実感、特に可処分所得低下の現状などを踏まえて、組合として学園に求めるべき事柄を議論し、春闘要求に盛り込みました。

ここに、春闘要求書および春闘アンケート結果をご報告申し上げます。
今号の春闘アンケート結果については紙面の都合上、集計の表のみを掲載いたしました。自由記述部分については組合ウェブサイトに掲載しております。是非とも組合ホームページをご覧ください。

※アンケートの自由記述に関しては、個人の特定される恐れのあるもの等は掲載しておりません。類似した内容のものは、編集の上まとめて掲載致しました。

以下、2025年度の春闘要求書 掲載

2025年4月14日

学校法人 大東文化学園
理事長 石井 淳子 様

大東文化学園教職員組合連合
執行委員長 首藤 禎史

2025年度春闘要求書

大東文化学園教職員組合連合は組合アンケート結果に基づき、下記の通り要求する。諸項目について2025年5月15日までに、全ての項目について文書または適切な手段をもって誠意ある回答を行うよう求める。

下記の要求のうち、実施にあたって規則の改正ないし制定を必要とし且つ今年度4月に遡及することが困難な項目については、速やかに規則の改正ないし作業計画を進め、今年度下半期からの実施を目指すよう重ねて要求する。

I 給与・手当等の改善

1 教職員の給与の改善

- (1) 教職員一律月額10,000円のベースアップを求める。
- (2) 助教と特任助手の給与に関しては月額5,000円の引き上げを行うこと。
- (3) アルバイト職員の時給は1,500円にすること。また、定期的な意見聴取により職務内容や本人の希望等を反映する昇給制度を導入すること。
- (4) 非常勤講師(大学・高校)の給与を1コマ月額1,000円増額すること。
- (5) 特任教員の年俸を一律3%増額すること。

2 教職員の手当等の改善

(1) 大学入学共通テスト監督業務手当等

大学入学共通テスト手当を業務担当する教育職員に 1 日 10,000 円支給すること。

(2) 住居手当

現行の 21,000 円から 28,000 円への増額を求める。

(3) 増コマ手当

大学教育職員の増コマ手当を 1 コマ月額 9,000 円から 15,000 円に増額すること。

(4) 第一高校の業務に関わる手当について

①教職調整額

5%に引き上げること。また、現行の固定労働制を継続するのであれば、その期間は毎年1%ずつ段階的に引き上げること。

②超過時間手当について

病気休職等に対応するための代講についても、超過時間手当を柔軟に適用すること。

③入試業務に関わる手当

高校入試に関わる外部相談会について、1 日につき 5,000 円、半日の場合は 2,500 円の支給を求める。

④役職手当

月 10,000 円への増額を求める。

⑤部活動手当

専任教諭・嘱託講師について月 12,000 円、非常勤講師について「時給 2,000 円」への増額をそれぞれ要求する。また、非常勤講師については、授業の持ち時間数と部活指導の時間の合計が週に 20 時間を超える場合には、雇用保険への加入を認めること。

この要求が実現した場合、業務委託契約をしている非常勤講師の場合は、本人が望めば、年度の途中であっても業務委託契約を解約し、時給を支払うように求める。

3 一時金

(1) 専任教職員に対し、夏期および冬期の一時金を夏期 0.6 か月、冬期 0.7 か月の方式で支給すること。

(2) 非専任職員（教育職および事務職）に対し、支給総額に前年度は 5,000 円の加算があったが、本年度は加算額を 10,000 円とすること。

(3) 諸物価高騰の現況を受けた今年度限りの措置として、生活支援手当 10,000 円を夏期・冬期の一時金にそれぞれ加算すること。ただし、相対的に賃金が低い若年層の教職員については、10,000 円増額し 20,000 円の加算を求める。

(4) 特任教員については、2023 年度に続き 2024 年度も夏・冬 25,000 円ずつの支給があったが、本年度も同様の額を支給すること。

II 教育・研究・労働条件の改善

1 育児・介護支援制度の充実

(1) 育児を理由とする時短勤務の措置を、小学校六年生を終えるまでの期間取得できるようにすること。時短勤務が取り易くなるよう、人員増を含めた環境整備を行うこと。

(2) 男性職員の育児休業の取得促進に向けて、現在の仕組みの周知や意識改革も含め、実際の取得につながるような具体案を策定すること。

(3) 有給休暇とは異なる措置としての「子の看護休暇」並びに「介護休暇」の日数の上限を、対象が 1 人であっても 5 日から 10 日に変更すること。

(4) 育児・介護を理由とする在宅勤務の拡充を行うこと。

(5) 祝日出勤の際に受けられるベビーシッター利用者支援割引券などの支援について、より広く周知すること。

2 専任教職員の労働条件の改善等

(1) 専任教職員の定年退職後、70 歳までの就業機会を確保すること。特に大学専任教員の定年年齢を 70 歳とすること。また、今後の見通しを回答すること。

(2) ハラスメント被害者が相談しやすいよう、外部相談窓口の存在を一層周知強化すること。

- (3) 超過勤務時間の削減と部署間格差是正のための具体的施策計画を早急に実施すること。事業計画の策定に当たっては人件費も考慮し、新規業務の優先順位を明確にすること。
特に長時間勤務が常態化している、スポーツ健康科学部の教職員、運動部活動の指導にあたる教職員等の勤務実態を把握し、改善に努めること。
- (4) 全教職員が同じツールにて業務連絡が行われること。業務ごとに異なるシステムツールを使用している現状（学生が連絡を見ない、業務連絡の情報量が適正か）を外部の専門家に検証してもらうこと。
- (5) ネットワークや記憶装置の保存容量、一時メモリを業務遂行に十分なスペックに向上させること。
- (6) 大東文化学園情報セキュリティポリシーを履行可能な静謐な職場環境を構築すること。具体的には、受付エリアと事務エリアを空間的に区別すること。
- (7) 科研費の場合と同様、専任教員の研究費の執行については、3月末日まで可能にすること。
- (8) 専任教育職員の有給休暇（保存休暇を含む）の取得の仕方について、休講措置との関係を明確にすること。

3 第一高校の教育・労働条件の改善について

- (1) 専任教諭一人当たりの生徒人数（2025年度22人）を、東京都の私立学校の平均18.3人（令和5年度学校基本調査）の水準に近づけるように、現在勤務している嘱託講師8名の枠を専任教諭に置き換えることを求める。実現すれば18.8人となる。
- (2) 2024年に導入を検討した変形労働制についてさらに協議の場を持ち、相互の理解を深めながら、適切な制度導入を検討すること。
- (3) 教頭職を1名置くこと。また、現在専任教諭として勤務している者を教頭職に充てる場合は、専任教諭で当該教諭の教科に補充をすること。
- (4) 専任教諭、嘱託講師が担っている自習監督を、希望する非常勤講師にも担わせることを認めること。その際、1コマ当たり1,500円の手当を支給すること。

4 嘱託職員およびアルバイト職員・非常勤講師・助手の待遇改善

- (1) 有期雇用の教職員の雇用形態に関する件
嘱託職員およびアルバイト職員、高校非常勤講師・助手の雇用更新年限に関する就業規則内容について各所属部署の長への周知を引き続き徹底すること。
- (2) 大学非常勤講師の研究条件の向上について
大学非常勤講師の研究条件の拡充に力を入れること。希望する非常勤講師には、研究倫理申請、科研費申請また大東文化大学紀要への論文投稿ができるようにするなど、柔軟に対応すること。

5 教職員・学生・生徒の健康管理について

- (1) 教職員、学生・生徒の健康管理一般を一括して行う健康管理センターの設置に向けて、在り方、人材、設置場所、予算の検討を行うこと。
- (2) 学生と教職員の重傷化や健康悪化のリスクを低減させるべく、板橋・東松山の両キャンパスの保健室に、1限開始時刻から5限終了時刻まで、投薬を含む医療的行為が可能な医療従事者を常駐させること。
- (3) 大学非常勤講師および第一高校非常勤講師が定期健康診断を受診する際の自己負担分をできる限り軽減すること。

6 学園のインフラ整備

- (1) 学園全体としてICT環境やネットワーク環境を引き続き改善し、特にWi-Fi環境をさらに完全なものにするべく整備すること。
- (2) 板橋校舎での教科書販売が次年度には再開できるよう、書店誘致を進めること。
- (3) 休業中の食堂の業者を速やかに選定し、両キャンパスの食事環境を速やかに改善すること。
- (4) 別キャンパスに研究室を持つ大学専任教員や非常勤講師が授業前後に学生からの質問や相談を受けられるスペースまたは部屋を、両キャンパスの講師控室近くに設置すること。
- (5) 2019年度末に設計が完了したのち中断している「東松山校舎第2体育館建設計画」および「緑山キャンパス整備計画」を今後どのように進めるのかを早急に明らかにすること。
- (6) 2028年度に予定されている履修登録システムの改修にあたり、操作性や応答性の向上を図るとともに、複雑な履修抽選に必要な「定員管理機能」を付けること。
- (7) 2025年に築30年を迎える第一高等学校の校舎建て替えについて、統廃合で募集停止になる公立学校を購入する等、様々な手段を検討すること。
- (8) 購入したグラウンドを教育活動に有効利用するための整備や維持、改善を引き続き求める。

7 ガバナンスの民主化・情報の開示に関する件

- (1) 4年間1キャンパス構想（新キャンパス移転構想）が学園側にあるならば、適宜情報を開示し、民主的なプロセスを経て意思決定をすること。
- (2) 上記新キャンパス移転構想について、教職員組合の代表をプロジェクトチームに加えること。あるいは、教職員組合との意見交換の場を持つこと。

Ⅲ 学生・生徒に対する財政的支援および勉学条件の改善

- (1) 学生・生徒に対する学習・生活支援
 - ・他大学でも導入が進んでいるキャンパス・ソーシャルワーカーを導入し、困難に直面している学生・生徒が学び続けられるように支援する取り組みをすすめること。
 - ・栄養バランスが良好な食事を安価に提供すべく、売店食堂の営業時間を延長すること。また、東松山生協食堂での朝ごはんプロジェクトへの大学負担額を増額し、学生が従来水準で朝食を取れるようにすること。
- (2) ハラスメント相談体制の強化。
 - ・ハラスメント調査の結果の詳細を公表し、学園内での議論を活性化すること。また、それをふまえて、効果のある研修を実施すること。
 - ・ハラスメント相談員とは別に、ハラスメントに関する専門的知識をもった教職員が対応する窓口を設置すること。とりわけ、電話およびWebの相談窓口に加えて、対面で安心して相談できる窓口の設置をすること。
 - ・ハラスメントに関わる案件について、できるだけ早く結論が出せるような仕組みを整えること。
- (3) バリアフリーのための取り組み
 - ・現在本学に在籍している障害のある学生・生徒・教職員のバリアをできる限りなくすための条件整備を進めること。
 - ・他大学で設置されているように、障害のある学生・生徒・教職員のバリア解消のための専門組織を設置すること。また、その際、障害のある学生・生徒・教職員のための専門的知識や技術をもった教職員を採用・養成すること。
- (4) ジェンダー平等のための取り組み
 - ・ジェンダーに関わる専門的知識をもった教職員を採用し／専門組織を設置し、ジェンダー・セクシュアリティの平等のための取り組みを進めること。
 - ・広報を含め、本学施策における性差別を回避するためのチェック機関を設置すること。
 - ・性的指向や性自認の多様性に関する学生・生徒・教職員のためのガイドラインを作成すること。
 - ・トランスジェンダーやノンバイナリーの学生・生徒・教職員が安心して学生生活を送れるようなトイレや更衣室を早急に増設すること。
- (5) 多文化共生のための取り組み
 - ・本学が、社会の価値観が多様であることを認識し、ひとりひとりの個性が尊重される社会をつくるための研究・教育を進めていくことを対外的にアピールすべく、DEI担当副学長を定めると同時に、ダイバーシティ宣言を発出し、差別のないキャンパスを目指すこと。
 - ・多文化理解を促進する専門的能力を有する職員を採用すること。
 - ・英語等、日本語以外でのコミュニケーションが可能な事務窓口を設置すること。
 - ・日本語以外のWEBサイトを更新・充実させること。
 - ・礼拝等の個別の宗教的儀式が可能となるフリースペースの設置をすること。
 - ・生協などと連携し、食堂においてハラルフードを提供できるようにすること。またビーガン、ベジタリアンへの食事を提供できるようにすること。

以上

2025年度 教員・職員アンケートについて

春闘アンケートは2月17日(月)から、大学専任教員(特任教員含む)合計328通、学園事務職員212通、合計540通を配布し、3月7日(金)を締め切りとしました。最終的に3月10日に集計し、教員87通(回収率約26.3%)、職員43通(回収率約19.4%)を回収しました。

次ページから掲載しているアンケート結果については、集計した表のみを掲載しました。たくさんご回答をいただいた自由記述のアンケートについては、この「桐」には掲載しておりませんが、教職員組合ホームページの方に載せております。ぜひ、そちらをご覧ください!!

すべての回答結果をご覧になりたい方は・・・



教職員組合ホームページ <https://daito-un.org> に掲載しております!!

(HPのQRコード)

★集計について：一部の単一回答の設問に対し、複数回答をされた方がありました。このうち、質問の内容が複数であっても成り立つものについては一回答とし、回答数に数えています。また、無回答であったものは有効回答から外しました。

★表について：教員・職員共通設問に関しては左側を教員、右側を職員回答とし、複数回答可のものは「全体」が有効回答数です。単一回答の設問は「合計」が有効回答数です。割合の高かった回答を網かけしてあります。

★自由記述については、個人の特定される恐れのあるもの等は編集しております。

2025 春闘アンケート

教員回答(89回答/331 26.9%)

職員回答(44回答/222 19.8%)

はじめにご自身についてお聞かせください。

回答者年齢	教 員		職 員	
	件数	割合	件数	割合
①20代	2	2.2%	11	25.0%
②30代	6	6.7%	11	25.0%
③40代	24	27.0%	8	18.2%
④50代	22	24.7%	4	9.1%
⑤60代以上	31	34.8%	3	6.8%
⑥回答しない	4	4.5%	7	15.9%
合計	89		44	

性別について	教 員		職 員	
	件数	割合	件数	割合
①女性	30	34.1%	17	38.6%
②男性	49	55.7%	16	36.4%
③回答しない	9	10.2%	11	25.0%
合計	88		44	

所属校舎について	教 員		職 員	
	件数	割合	件数	割合
①板橋校舎	45	52.3%	26	61.9%
②東松山校舎	41	47.7%	12	28.6%
③その他	0	0.0%	4	9.5%
合計	86		42	

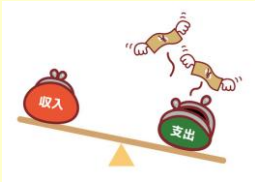
本紙は大学組合webサイト <https://daito-un.org> にも掲載しています。

本紙へのご投稿、ご意見、ご質問は daito-un@boreas.dti.ne.jp にお寄せください。

Q1. ベースアップ（基本給の増額）について

【生活実感として最も近い選択肢を選んでください】 ※○は 1 つ

生活実感について	全体	教 員		職 員	
		件数	割合	件数	割合
①余裕がある		3	3.4%	1	2.4%
②やや余裕がある		8	9.1%	5	12.2%
③まあまあ		45	51.1%	15	36.6%
④やや苦しい		21	23.9%	7	17.1%
⑤苦しい		11	12.5%	13	31.7%
合計		88		41	



生活実感について	20代	教 員		職 員		生活実感について	30代	教 員		職 員	
		件数	割合	件数	割合			件数	割合	件数	割合
①余裕がある		0	0.0%	0	0.0%	①余裕がある		0	0.0%	1	9.1%
②やや余裕がある		0	0.0%	2	18.2%	②やや余裕がある		0	0.0%	0	0.0%
③まあまあ		0	0.0%	2	18.2%	③まあまあ		3	50.0%	5	45.5%
④やや苦しい		1	50.0%	3	27.3%	④やや苦しい		2	33.3%	2	18.2%
⑤苦しい		1	50.0%	4	36.4%	⑤苦しい		1	16.7%	3	27.3%
合計		2		11		合計		6		11	

生活実感について	40代	教 員		職 員		生活実感について	50代	教 員		職 員	
		件数	割合	件数	割合			件数	割合	件数	割合
①余裕がある		1	4.0%	0	0.0%	①余裕がある		1	4.8%	0	0.0%
②やや余裕がある		3	12.0%	2	25.0%	②やや余裕がある		2	9.5%	1	33.3%
③まあまあ		10	40.0%	3	37.5%	③まあまあ		15	71.4%	1	33.3%
④やや苦しい		8	32.0%	0	0.0%	④やや苦しい		2	9.5%	0	0.0%
⑤苦しい		3	12.0%	3	37.5%	⑤苦しい		1	4.8%	1	33.3%
合計		25		8		合計		21		3	

生活実感について	60代以上	教 員		職 員		生活実感について	年齢不明	教 員		職 員	
		件数	割合	件数	割合			件数	割合	件数	割合
①余裕がある		1	3.2%	0	0.0%	①余裕がある		0	0.0%	0	0.0%
②やや余裕がある		2	6.5%	0	0.0%	②やや余裕がある		1	25.0%	0	0.0%
③まあまあ		18	58.1%	2	66.7%	③まあまあ		0	0.0%	3	50.0%
④やや苦しい		6	19.4%	1	33.3%	④やや苦しい		2	50.0%	1	16.7%
⑤苦しい		4	12.9%	0	0.0%	⑤苦しい		1	25.0%	2	33.3%
合計		31		3		合計		4		6	

【2024 年度は前年度に比べ、家計の支出が
増えましたか】 ※○は 1 つ

【現在の俸給について、1 ヶ月あたりどのぐらいの
増額が必要だと思いますか】 ※○は 1 つ

家計の支出について	教 員		職 員	
	件数	割合	件数	割合
①とても増えた	31	34.8%	16	38.1%
②増えた	51	57.3%	22	52.4%
③変わらない	6	6.7%	4	9.5%
④減った	1	1.1%	0	0.0%
⑤とても減った	0	0.0%	0	0.0%
合計	89		42	

俸給はどのぐらいの増額が必要 だと思いますか	教 員		職 員	
	件数	割合	件数	割合
①必要ない	5	5.9%	6	15.0%
②1000円	1	1.2%	2	5.0%
③3000円	6	7.1%	1	2.5%
④5000円	15	17.6%	4	10.0%
⑤8000円	3	3.5%	1	2.5%
⑥10000円	26	30.6%	14	35.0%
⑦15000円	2	2.4%	1	2.5%
⑧20000円	9	10.6%	4	10.0%
⑨25000円	3	3.5%	0	0.0%
⑩30000円	7	8.2%	4	10.0%
⑪それ以上	8	9.4%	3	7.5%
合計	85		40	

【非常勤講師の給与に関してご意見があればお書きください】

【アルバイト職員の給与に関してご意見があればお書きください】

【現在の俸給のしくみについてご意見があればお書きください】

◆ 自由記述の回答につきましては組合のHPに載せております。そちらをご覧ください ◆

Q2. ボーナス（期末・勤勉手当）について

【現在のボーナスに関して、今後の希望をお聞かせください】 ※〇は1つ

ボーナスに関して	教 員		職 員	
	件数	割合	件数	割合
①ボーナスの増額	31	36.9%	23	56.1%
②昨年度と同水準での支給	53	63.1%	17	41.5%
③減額もやむを得ない	0	0.0%	1	2.4%
合計	84		41	



【改善を求めたい内容を具体的にお書きください】

◆ 自由記述の回答につきましては組合のHPに載せております。そちらをご覧ください ◆

Q3. 一時金について

【今後の希望をお聞かせください】 ※〇は1つ

一時金について	教 員		職 員	
	件数	割合	件数	割合
①一時金の増額	32	37.6%	19	46.3%
②昨年度同様水準での支給	51	60.0%	19	46.3%
③減額もやむを得ない	2	2.4%	3	7.3%
合計	85		41	

【一時金に関してご意見があればお書きください】

◆ 自由記述の回答につきましては組合のHPに載せております。そちらをご覧ください ◆

Q4. 手当の改善について

【諸手当に関して、改善を求めたいものはありますか】 ※〇はいくつでも

給与・手当の改善について	教 員		職 員	
	件数	割合	件数	割合
①扶養手当	11	9.4%	7	15.9%
②住居手当	28	23.9%	22	50.0%
③通勤手当	15	12.8%	9	20.5%
④引率・出張に関わる手当	16	13.7%	2	4.5%
⑤役職手当	8	6.8%	2	4.5%
⑥オーバーコマ手当	28	23.9%		
⑦その他	11	9.4%	2	4.5%
合計	117		44	



【改善を求めたい内容を具体的にお書きください】

◆ 自由記述の回答につきましては組合のHPに載せております。そちらをご覧ください ◆

Q5. 福利厚生の拡充について

【福利厚生に関連して、以下の項目について問題と感じていることや改善要求を行いたいことがございましたら、その内容をお書きください】

- ① 健康に関するもの
- ② 家族（育児・教育・介護）に関するもの
- ③ 文化・スポーツに関するもの
- ④ その他



◆ 自由記述の回答につきましては組合のHPに載せております。そちらをご覧ください ◆

Q6. 【教員のみ】労働・研究について

【6コマ+は多いと思う】 ※○は一つ

6コマ+は多いと思う	教 員	
	件数	割合
①そう思う	1	2.3%
②まあそう思う	22	50.0%
③あまりそう思わない	21	47.7%
④全くそう思わない	0	0.0%
合計	44	

【週に3日以上の出勤オブリゲーションは研究に支障をきたす】 ※○は一つ

週に3日以上の出勤オブリゲーションは研究に支障をきたす	教 員	
	件数	割合
①そう思う	21	25.6%
②まあそう思う	22	26.8%
③あまりそう思わない	36	43.9%
④全くそう思わない	3	3.7%
合計	82	

【研究に関わる時間を十分に確保できていますか】 ※○は一つ

研究に関わる時間を十分に確保できていますか	教 員	
	件数	割合
①そう思う	3	3.5%
②まあそう思う	24	28.2%
③あまりそう思わない	38	44.7%
④全くそう思わない	20	23.5%
合計	85	

【研究費は十分であると考えますか】 ※○は一つ

研究費は十分であると考えますか	教 員	
	件数	割合
①そう思う	14	16.5%
②まあそう思う	45	52.9%
③あまりそう思わない	21	24.7%
④全くそう思わない	5	5.9%
合計	85	

【研究環境に関するその他の要望があればお聞かせください】

《学内業務に関する意見》・《研究費に関する意見》・《研究環境に関する意見》

◆ 自由記述の回答につきましては組合のHPに載せております。そちらをご覧ください ◆

【非常勤講師への研究環境面の待遇についてどのように考えますか】 ※○は一つ

非常勤講師への研究環境面の待遇についてどのように考えますか	教 員	
	件数	割合
①大きく改善が必要である	6	9.0%
②改善が必要である	38	56.7%
③特に改善は必要ない	23	34.3%
合計	67	



【非常勤講師への研究環境面の待遇について、具体的な改善点があればお聞かせください】

◆ 自由記述の回答につきましては組合のHPに載せております。そちらをご覧ください ◆

Q6. 【職員のみ】現在の超過勤務の状況について

【超過勤務となる時期はどのような時ですか】 ※〇は複数可

現在の超過勤務の状況について	職 員	
	件数	割合
①超過勤務がとても多い	5	12.5%
②超過勤務がやや多い	14	35.0%
③超過勤務がほとんどない	21	52.5%
合計	40	



【超過勤務となる理由はどのようなことですか】 ※自由記述

◆ 自由記述の回答につきましては組合のHP に載せております。そちらをご覧ください ◆

Q7. 【職員のみ】在宅勤務について

【在宅勤務（月4日上限）を利用していますか】

※〇は一つ

在宅勤務を利用していますか	職 員	
	件数	割合
①上限まで利用	4	9.5%
②月3日平均	1	2.4%
③月2日平均	1	2.4%
④月1日平均	7	16.7%
⑤取得していない	29	69.0%
合計	42	

【在宅勤務の拡充を希望しますか】

※〇は一つ

在宅勤務の拡充を希望しますか	教 員	
	件数	割合
①完全在宅勤務を希望する	1	2.5%
②上限を増やしてほしい	12	30.0%
③今のままでよい	21	52.5%
④在宅勤務はない方がよい	6	15.0%
合計	40	

【在宅勤務利用の妨げになるものがありますか】 ※〇は複数可

在宅勤務利用の妨げになるものがありますか	職 員	
	件数	割合
①対面会議	9	22.5%
②打合せ	10	25.0%
③窓口対応	33	82.5%
④社内連絡	5	12.5%
⑤自宅環境	5	12.5%
⑥その他	11	27.5%
合計	40	



【⑥その他を選択した方は理由をお書きください】 ※自由記述

◆ 自由記述の回答につきましては組合のHP に載せております。そちらをご覧ください ◆

Q8. 【職員のみ】年次有給休暇の取得状況について

【2024年度有休休暇を何日取得しましたか】

※〇は一つ

年次有給休暇について	職 員	
	件数	割合
①5日未満	1	2.3%
②5～9日	20	46.5%
③10日以上	22	51.2%
④取得していない	0	0.0%
合計	43	

【有給休暇を取得しやすいですか】

※〇は一つ

有給休暇を取得しやすいですか	職 員	
	件数	割合
①とても取得しやすい	19	44.2%
②まあ取得しやすい	17	39.5%
③あまり取得しにくい	6	14.0%
④取得しづらい	1	2.3%
合計	43	

【有給休暇取得の妨げになるものがありますか】

※〇は複数可

有給休暇取得の妨げになるものがありますか	職 員	
	件数	割合
①会議・打合せが多い	6	15.0%
②業務量が多く余裕がない	9	22.5%
③取得しづらい雰囲気がある	7	17.5%
④その他	2	5.0%
合計	40	

【有給休暇を取得した日に出勤したことがありますか】

※〇は一つ

有給休暇取得日の出勤について	職 員	
	件数	割合
①ある	5	11.6%
②ない	38	88.4%
合計	43	

Q7【教員】 Q9【職員】 ダイバーシティの推進について

- 【「多文化共生」を進める上で本学が改善すべき所を具体的に教えて下さい】
- 【バリアフリーな空間にするために本学が改善すべき所を具体的に教えてください】
- 【ジェンダー・セクシュアリティの平等をすすめるために本学が改善すべきところを教えてください】

◆ 自由記述の回答につきましては組合のHP に載せております。そちらをご覧ください ◆

Q8【教員】 Q10【職員】 困っていること、不満・不安に思うこと

【以下について問題と感じたり、改善要求を行いたいことがありましたらお書きください。】

- ① 労働条件（就業規則、定年、休日勤務、教職員数、在宅勤務など）
- ② 労働環境（人間関係、心理的安全性、ハラスメント、施設・設備の不具合など）
- ③ 教育環境（コマ数、IT インフラ、学年歴、休講補講、大学院など）
- ④ 研究環境（研究室、研究費、研究に関する制度など）
- ⑤ 人事（昇任、昇格、委員など）
- ⑥ 退職後（年金問題・定年年齢など）
- ⑦ 各種制度（育児・介護制度など）
- ⑧ 大学運営（中長期計画、運営体制、危機管理、財政など）
- ⑨ ダイバーシティに関する取り組み
- ⑩ 入試関連（学生募集、入試問題作成、試験監督業務など）
- ⑪ その他

◆ 自由記述の回答につきましては組合のHP に載せております。そちらをご覧ください ◆

Q9.【教員】 Q11.【職員】 教職員組合について

【組合活動全般について、何かお気づきの点やご要望がございましたらお願いします】

◆ 自由記述の回答につきましては組合のHP に載せております。そちらをご覧ください ◆

以上、アンケート結果となります。
ご協力いただいたみなさま、ありがとうございました。

